

# 未来ファンドおうみ通信

NO. 5

2016年10月1日発行  
淡海ネットワークセンター

<http://www.ohmi-net.com/>

## 2017年度 未来ファンドおうみ助成事業の 募集が始まります！

- ◆応募受付期間： 2016年11月20日～2017年1月15日
- ◆説明会： 11月下旬～12月中旬
- ◆詳細： 11月中旬にホームページでお知らせします。
- ◆募集案内（募集要項）と申請書の入手方法  
11月下旬より、淡海ネットワークセンターのホームページからダウンロードできます。淡海ネットワークセンター事務所でも受け取れます。

### 2016年度未来ファンドおうみ クラウドファンディング活用基金助成事業

次の3団体が二次審査を通過しました。

- ◇ あいとうふくしモール運営委員会
- ◇ 特定非営利活動法人 結びめ
- ◇ ヴォーリズ今津郵便局の会

11月上旬に上記団体のクラウドファンディングが始まります。  
みなさん応援をよろしくお願いいたします。



## 2016 助成先団体の活動

ナカザワNEOフレンドシップ基金助成

### 彦根にほんご教師会

1990年に「彦根日本語講師会」として発足し、その後「にほんご滋賀」に名称変更し25年間活動を続けてきました。そして、2014年9月に「彦根にほんご教師会」と名称変更しました。

就学前1年～中学生までの「外国につながる」子どもたちに、効果的な日本語指導や教科指導をおこなっています。月3回、大学サテライト・プラザ彦根で「子どもにほんご教室」を開催しています。また、そこへ通えない子どもや、学校の管理職から要請のあった彦根市内の中学校、小学校へ出張し日本語指導・日本語能力レベル調査をおこなっています。実施日は、水曜日の放課後活用や、管理職の許可がある学校は学習の時間内に組み込まれています。



さらに、ボランティア日本語指導者を対象に、月1回研修をおこなっています。「日本語指導・教科指導（JSL：主に外国語としての日本語 Japanese as a Second Language）」で、より専門的で効果の高い指導をめざしています。

湖国文学活動応援むらさき基金助成

### 近江八幡市郷土史会

事業名『近江八幡市内の神社を網羅した歴史記録書籍発刊のための調査事業』で、今年度の未来ファンドおうみ助成事業に採択されました。



この事業は、地域住民、さらに市内外の人々を対象に、神社名、その場所、祭神、氏子の実状、由緒、伝承、周辺地域の歴史などの近江八幡市内の神社を網羅した書籍を出版するにあたり、今年度は市内各神社の調査と聞き取りをおこなっています。

神主さん、宮役さんがおられる神社は、その方から詳しいことを聞きます。文献に記録されず口伝えされていることについては、複数のお年寄りから聞き取りをします。なお、近江八幡市内の神社には珍しい祭りがいくつか伝承されていますが、その起源や人々の祭りに込めた願いも解き明かしていくことは、たいへん興味深いことです。

また、地域住民を交えた研修会を年に2回ほど予定しています。

## 2016 助成先団体の活動

おうみ NPO 活動基金助成

### 特定非営利活動法人 芹川

『文化遺産・伝統芸能で健やかな子どもを育む事業』で今年度の未来ファンドおうみ助成事業に採択されました。

現在、中学生9人と小学生3人が、近くのみどり会館で練習に毎週励んでいます。その成果は11月初旬（日程の調整中）に彦根城博物館能舞台で発表します。

秋の舞台発表が終わると、城西小学校6年生2クラス全員参加の狂言練習が始まります。練習の成果は、卒業式前の2月に彦根城博物館能舞台で発表します。

今年は助成金を活用して、プロ狂言師のご経験と米国での文化交流にもたずさわっておられた柳本勝海先生を京都から招いて指導を受けています。毎週の指導は、地元彦根の狂言指導者が協力しておこなっています。



昨年10月の発表写真

<http://www.kyoto-np.co.jp/shiga/article/20151019000045/print>

この狂言の取り組みを通じて、子どもたちが規律正しくなった、しっかりとした自己主張ができるようになった、家でよく話しをするようになったと好評です。

ナカザワNEOフレンドシップ基金助成

### 特定非営利活動法人 長浜市民国際交流協会

事務所は、「長浜市多文化共生・国際文化交流ハウス（GEO）」の1階にあります。



主な活動は、ながはま多文化共生フェスタの開催、姉妹都市交流事業、ホームステイ事業、国連学校中学生研修旅行の受け入れ、外国料理教室の開催、進路説明会等の開催支援、外国人向け冊子の設置や掲示、図書コーナーの開設、You 弁 In NAGAHAMAの開催などです。

本年度採択事業の『ながはま多文化共生フェスタ2016』は、五感でつながるインターナショナルフェスタとして、楽しみながら国際理解・多文化共生の意識が培われることをめざす交流イベントです。今年は11月6日（日）の10:00～15:00に、長浜の勤労福祉会館：臨湖で開催されます。現在、実行委員会で話し合いを重ねて準備をすすめています。



## 2016 助成先団体の活動

びわ湖の日基金助成

### 山門水源の森を 次の世代に引き継ぐ会

助成事業は「山門水源の森に分布する中間雑種ユキバツバキ群の調査と整備」です。山門の森は、滋賀県と福井県の県境にあり、雪国に多いユキツバキと暖かい気候を好むヤブツバキの中間種であるユキバツバキが約 9000 株群生しています。このツバキは、深い雪に耐えられるように樹高は低く、しなやかな特徴をもっています。花は、1月上旬から5月まで楽しめます。花の色、形、弁数、葉の形などはさまざま、この森での分布が一部の地域に偏っています。その要因を研究するために、2014年度から本格的な調査を開始しました。2015年度からは、全ての株にタグ付けをしました。開花時に個々の株の特性調査を肉眼観察し、

加えてDNA分析をおこないます。こうして、ユキツバキとヤブツバキの関係を明らかにしようとしています。



2015年度に全区域にラミネート加工をした表示板を設置しましたが、耐久性がないことがわかってきました。そこで、今年度の未来ファンドおうみの助成金を活用し、アクリル板に吹き付けて作成した耐久性のあるタグにすることで、長期にわたる追跡調査が可能となります。



未来ファンドおうみにお寄せいただいた質問

### Q: 寄付の税制優遇について知りたいのですが

A: 公益財団法人淡海文化振興財団への寄付金は、寄付金控除等の税制上の優遇措置の対象となります。【個人の方】所得税(国税)は、寄付金控除として「税額控除」又は「所得控除」のどちらか有利な方を選択いただけます。個人住民税は、滋賀県個人県民税の寄付控除は対象となります。個人市区町村税の寄付控除は、対象に該当するかお住まいの市区町村にお尋ねください。【法人の方】一般の寄付金にかかる損金算入限度額とは別枠で、一定の限度額内で損金の額に算入されます。

いずれの場合も、税制優遇措置を受けるためには確定申告が必要です。詳しくは、最寄りの税務署と、お住まいの市区町村税務担当部署にお尋ねください。

### お問い合わせ先

淡海ネットワークセンター(公益財団法人 淡海文化振興財団)

〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20 (ピアザ淡海 2F)

TEL: 077-524-8440、FAX: 077-524-8442、e-mail: office@ohmi-net.com